A. 主な動き

1. 内政

ティモシェンコ前首相に関する動き

・15日、欧州人権裁判所は、ウクライナ政府に対し、ティモシェンコ前首相が適切な医療機関において十分な治療が受けられるべく手配するよう指示する決定をした旨発表。

大統領の動き

・12日、ヤヌコーヴィチ大統領は、野党を含む最高会議各会派代表を招いた会合を13日に開催することを提案、同会合ではブロック「ユーリヤ・ティモシェンコ」(BYT)及び「我々のウクライナ・国民自衛」より大統領に対し提起された問題(民主主義の低下、欧州統合の停滞、政治的迫害、経済の悪化等)も協議される旨発表。同日、BYT及び「我々のウクライナ・国民自衛」は同会合に参加する意思はない旨発表。

・13日、ヤヌコーヴィチ大統領は、リトヴィン最高会議議長、地域党、国民党、共産党及び「未来のための改革」グループの最高会議会派代表者と会談し、各会派の対話の必要性を指摘。BYT及び「我々のウクライナ・国民自衛」代表者は同会合を欠席。

・16日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ティモフティ・モルドバ最高司法評議会議長との電話会談において、同議長の大統領選出を祝福し、今後の二国間関係発展への期待を表明。

その他

・11日、ナリヴァイチェンコ「我々のウクライナ」党評議会代表は、同党は最高会議議員選挙における野党統一候補者名簿に加わる用意がある旨発表。

・14日、BYTは、議員倫理違反及び大統領府との協力関係が認められるとして同ブロック所属のコロレフスカ最高会議議員(社会民主党党首)の除名を決定。同日、リトヴィン最高会議議長は、コロレフスカ議員を含めた社会民主党所属の最高会議議員3名のBYT離党を発表。BYT議員は計100名に減少。

2. 経済

金融・バンキング

・13日、アザーロフ首相は、3月7日にヤヌコーヴィチ大統領によって提示された社会イニシアティブ実施のため、財務省が2012年の国家予算の関連修正を立案することに伴い、経済省に対して、マクロ経済発展の指標を経済の成長に併せて調整する旨の指示を行った旨報告。

・16日、ティヒプロコ副首相は、国内の財政状況の改良のため年金の額を増加する旨発言。現在、750万人が1,000グリブナ以下の年金しか受け取っていないが、2008年以前に退職した人は少なくとも更に約100グリブナが加算され、こ

れは年金受給者にとっては重要な援助になる旨発言。

IMF

・13日、アザーロフ首相は、コロポフ財務相がIMFとの協議に関して、今月米国を訪問して協議する、また、同財務相が新しく着任したジャビス駐ウクライナ代表と議論を開始するため、会談を行う旨発言。

・14日、ティヒプロコ副首相は、ウクライナとIMFの協議が行き詰まっている、IMFが家庭のガス価格の値上げを主張しており、価格を上げるというオプションしか残っていないが、ウクライナ政府はそれを行うことはないだろう旨発言。

農業

・14日、アザーロフ首相は、昨年の高い収穫量のため、食用小麦は十分な在庫があり、今年は穀物の輸出割当を導入することはないだろうと発言。

・14日、ウクル・アグロ・コンサルは、2012年の穀物収穫量を4,550トンと予想。

ガス問題

・12日、クリューエフ国家安全保障・国防会議書記は、ガス輸送コンソーシアムに関し、ウクライナ・露・EUの三者による創設が望ましいものの、ウクライナ・露の二者による創設の可能性も排除しない旨発言。

・13日、ボイコ・エネルギー・石炭産業相は、ウクライナはトルクメニスタンからのガスの直接供給の可能性についてトルクメニスタンとの交渉を継続する旨発言。

その他

・12日、マズルチャク・キエフ市行政府第一副長官は、首都キエフからの廃棄物を処理するための3つの廃棄物処理プラントをキエフ州内に2014年までに建設する旨発表し、キエフ市のクリーンシティ国家プロジェクトの一環として計画が進められ、2～3年以内に3つのすべてのプラントが稼働する計画である旨発言。

・13日、最高会議は、ヤヌコーヴィチ大統領によって提出された関税法の修正案を承認。議会においては登録された議員421名のうち264名が賛成。

3. 外政

トルクメニスタン大統領の来訪(12日～14日)

・13日、ベルディムハメドフ・トルクメニスタン大統領は、ウクライナを訪問し、ヤヌコーヴィチ大統領と会談。ヤヌコーヴィチ大統領は、2月のトルクメニスタン大統領選挙におけるベルディムハメドフ大統領の圧勝を祝福し、ウクライナは燃料・エネルギー分野におけるトルクメニスタンとの連携に関心があると、トルクメニスタンのガス田開発計画等への参加及び必

要な設備機材提供の用意がある旨発言。会談後、両大統領は、二国間関係の強化及び国際場裡での協調を進めることで一致。両者は、また、経済・貿易、交通・通信、建設、工業分野における協力関係に関するウクライナ・トルクメニスタン共同声明に署名。

・14日、ベルディムハメドフ大統領は、リトヴィン最高会議議長と会談し、両国議会間関係につき協議。

オルバーン・ハンガリー首相の来訪

・16日、オルバーン・ハンガリー首相は、ウクライナを訪問し、ヤヌコーヴィチ大統領と会談。両者は、ウクライナ・ハンガリー経済・流通関係に関し協議。

ティモシェンコ前首相の問題に関する西側の発言

・12日、欧州評議会は、ヤーグラン事務総長がウクライナにおける拘留中の人々に対する処遇及びティモシェンコ前首相の健康状態に対する懸念を示している旨の声明を発表。

・14日、アゴフNATO議会議副議長は、キエフで開催されたウクライナ・NATO議会議間会議の会合において、ティモシェンコ前首相及びルツェンコ前内相等の政治家の処罰に関するウクライナの政治状況に対する懸念を表明。

・15日、フューレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員は、ティモシェンコ前首相が今秋の最高会議選挙に参加しなかった

場合、選挙結果の欧州による評価に影響を与えるであろう旨発言。

4 . 防衛

・12日、インターファクス・ウクライナ通信は、近代化されたAn-32軽輸送機5機がインドに向け出荷、本輸出は昨年5月及び9月に続き3度目であり、2009年7月の契約に基づくものである旨報道。

・14日、リトヴィン最高会議議長は、キエフで開催されたウクライナ・NATO議会議間会議の会合において、ウクライナとNATOの関係は過度な政治化から解放され、効果的な協力のための全ての条件を作り出すことができる旨発言。

・16日、ヤヌコーヴィチ大統領は、軍と軍産複合体の改革及び発展に関する委員会を設置する命令に署名、大統領を委員長とし、クリューエフ国家安全保障・国防会議書記を事務局長に任命。

・16日、モジャロフスキー国防副大臣は、サッカー欧州選手権「EURO2012」開幕前日にポーランド国防省と反テロリズム共同演習を実施する旨発表。

(了)